



奈良県感染症情報

令和3年第1週(1月4日～1月10日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 新型コロナウイルスの消毒について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.00	(0.68)	➡	➡	➡	↓
2	A群溶連菌咽頭炎	0.32	(0.12)	⬇	⬇	➡	⬇
3	咽頭結膜熱	0.26	(0.09)	⬇	➡	➡	⬇
3	突発性発しん	0.26	(0.09)	➡	➡	⬇	⬇
5	水痘	0.12	(0.09)	⬆	⬆	➡	⬇

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**⬇やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

定点把握感染症の報告数は少ない状況です。

第1週の県内の新型コロナウイルス感染症の新規報告者数は249名と増加が続いています。12月30日からは通常医療の提供に必要な病床確保のため、宿泊療養施設を108室から250室に増やして対応していますが、宿泊療養者数は1月3日には110人、1月10日には144人になっています。陽性率も高い状態が続いており、流行が収まる兆しはまだ見えません。

新型コロナウイルス対策には、こまめな換気が重要です。室温が下がりすぎないように、暖房器具を使用しながら、上手に換気に取り組むようにしましょう。短時間に窓を全開にするよりも、一方向の窓を少しだけ開けて常時換気を確保する方が、室温変化を抑えられます。

11都府県で緊急事態宣言が行われました。引き続き、マスク着用、手指衛生、他人との距離の確保、3密を避けるといった「うつらない・うつさない」行動の徹底をお願いします。

～新型コロナウイルスの消毒について～

新型コロナウイルスへの感染は、ウイルスを含む飛沫が口、鼻や眼などの粘膜に触れること、または、ウイルスがついた手指で口、鼻や眼の粘膜に触れることで起こります。このため、飛沫を吸い込まないように人との距離を確保し、会話時にマスクを着用し、手指のウイルスは洗い流すことが大切です。さらに、身の回りのモノを消毒することで、手指につくウイルスを減らすことが期待できます。

エタノールは濃度が70%以上95%以下のものを、次亜塩素酸ナトリウム(次亜塩素酸水とは異なります)は濃度が0.05%になるように希釈したものを使用しましょう。

新型コロナウイルス感染症対策



消毒や除菌効果をうたう商品は、**目的に合ったものを、正しく選びましょう。**

➤ **チェックポイント**

☑使用方法 ☑有効成分 ☑濃度 ☑使用期限

※商品の購入の際には、必ずこの4点をチェックするようにしましょう。

① 手指のウイルス対策

こまめな手洗いを心がけましょう。

石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いをすることで、十分にウイルスを除去できます。さらに消毒剤等を使用する必要はありません。

② 物品のウイルス対策

テーブル、ドアノブなどの身近な物の消毒には、塩素系漂白剤や、一部の家庭用洗剤等が有効です。

塩素系漂白剤の詳しい情報はこちらから！
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm>

家庭用洗剤等の詳しい情報はこちらから！
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm>

③ 空間のウイルス対策

定期的に換気してください。

注)まわりに人がいる中で、消毒や除菌効果をつたう商品を空間噴霧することは、おすすめしていません。

出典:厚生労働省 HP

(https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_system_20200626_01.pdf)

詳しくは https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

(新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について(厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ))

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 1 週 1 月 4 日 ~ 10 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	9 (0.26)	2 (0.22)	1 (0.11)	1 (0.14)	5 (0.83)			
A群溶連菌咽頭炎	11 (0.32)	1 (0.11)	1 (0.11)	7 (1.00)	2 (0.33)			
感染性胃腸炎	34 (1.00)	8 (0.89)	7 (0.78)	4 (0.57)	14 (2.33)		1 (0.50)	
水痘	4 (0.12)	3 (0.33)		1 (0.14)				
手足口病	1 (0.03)				1 (0.17)			
伝染性紅斑								
突発性発しん	9 (0.26)	3 (0.33)	2 (0.22)	3 (0.43)	1 (0.17)			
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	2 (0.06)	1 (0.11)	1 (0.11)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	1 (0.10)		1 (0.33)					
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)				1 (1.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(郡山1、中和3)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(奈良市1)
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(中和1) 梅毒1件(中和1)

❖ 第1週のトピックス ❖

◆首都圏(1都3県)に緊急事態宣言が発出されたことに関する奈良県知事コメント

<http://www.pref.nara.jp/secure/228522/0108tjicomment.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						
	女																						
RSウイルス感染症	男																						
	女																						
咽頭結膜熱	男			1			1	1	1													4	4
	女			3	1																	5	5
A群溶連菌咽頭炎	男				2	1	1	1					1									6	6
	女				1	1		1	1				1									5	5
感染性胃腸炎	男		1	4	5	2	1	2		3	1		2	2	2							25	25
	女		2				2					1	1	3								9	9
水痘	男										1		1									2	2
	女									1		1										2	2
手足口病	男		1																			1	1
	女																						
伝染性紅斑	男																						
	女																						
突発性発しん	男		2																			2	2
	女		3	2		1	1															7	7
ヘルパンギーナ	男																						
	女																						
流行性耳下腺炎	男							1														1	1
	女																					1	1
急性出血性結膜炎	男																						
	女															1						1	1
流行性角結膜炎	男																						
	女																						
細菌性髄膜炎	男																						
	女																						
無菌性髄膜炎	男																						
	女																						
マイコプラズマ肺炎	男																						
	女																					1	1
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1																			1	1
	女																						

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

